



わたしたちこんな活動しています

# サークル紹介

## 郷土芸能名寄太鼓保存会 技能部・源響

魂を覚醒させる和太鼓の響き

名寄太鼓保存会は、昭和40年に前身のピヤシリ太鼓として発足し、活動を続ける中で、当会技能部の名称を平成10年に「郷土芸能名寄太鼓保存会技能部・源響」と変え、平成27年で50周年を迎えました。現在は40代を中心とした10〜50代の男女23人で活動しています。

これまでに、NHKへのテレビ出演や道民芸術祭、アメリカでの公演「北海道ウィーク」、その他地元開催の各種イベントなど数多く出演しています。また、平成4年には、名寄市文化奨励賞を受賞し、名寄市の郷土文化の一つとして定着しています。和太鼓は、母胎で聴き育った心音に似ていると説かれ、年齢に関係なく引き込まれる響きです。その響きが時を融合し、魂を覚醒させられることから、太鼓は日本人の文化そのものと確信しています。

当会では、随時会員を募集しています。郷土愛に満ち、協調性と太鼓に興味を持っていらっしゃる方であれば、老若男女問わず歓迎します。ぜひ、一緒に太鼓を叩いてみませんか。

- 活動日時  
火・金曜日  
19:00～21:00
- 活動場所  
市民文化センター  
多目的ホール
- 会費  
無料
- 連絡先  
俵 正次さん  
☎01654③7287



## 名寄カーリング協会

プレーすることで楽しさを実感

- 活動日時 11月～3月 19:00～22:00
- 活動場所 サンピラー交流館カーリング場
- 会費 競技者 年額7,000円(18歳以下3,000円)  
愛好者 年額4,000円(18歳以下1,500円)
- 連絡先 松田 慎司さん ☎01654②4194(内線2111)

名寄カーリング協会は、昭和57年10月に設立されました。

カーリングは、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が楽しめる生涯スポーツです。当協会でも小学生から70代までの方が、仲の良い者でチームを結成し、自分たちのペースでカーリングを楽しんでいます。

競技部門では、北海道代表を決める選手権大会を目標に、各年代層がそれぞれ活動しています。さらに近年では、日本代表を決める大会に出場できるチームも徐々に育ってきており、近い将来、名寄から日本代表チームが選出されることを期待しています。また、ジュニア世代では、世界でプレーする選手も育ち、毎日、オリンピック出場を目指して練習しています。

カーリングは4人で行うチームスポーツです。頭脳的な戦略が面白く、実際にプレーをすることで、楽しさがより実感できます。氷上スポーツなので、滑って転ぶと思われるがちですが、専用の靴を履くので意外に滑りません。氷上を専用ブラシでこする仕事も滑稽ですが、これが適度な運動になり汗をかきます。

冬は、何かと運動不足になりがちかと思えます。ぜひ一度、国内でも5本の指に入る大きな施設、サンピラーパーク交流館でカーリングを体験してみませんか。

「サークル紹介」では、市生涯学習課発行のサークル便利帳に掲載している団体を紹介しています。